

# 糖尿病・内分泌内科 *Diabetes and Endocrinology*

## 1. スタッフ構成(2025年3月時点)

- 戎井 理(医局長、腎糖尿病センター副センター長、主任部長)  
1988年愛媛大学医学部卒  
専門分野:糖尿病・内分泌代謝疾患  
資格:日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・指導医、日本糖尿病学会糖尿病専門医・研修指導医、日本内分泌学会内分泌代謝科(内科)専門医・内分泌代謝科指導医、日本老年医学会老年科専門医・老年科指導医、厚生労働省臨床研修指導医
- 大野 敬三(部長、栄養部長)  
1991年自治医科大学卒  
専門分野:糖尿病・内分泌代謝疾患  
資格:日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・指導医、日本糖尿病学会糖尿病専門医、日本老年医学会老年科専門医・老年科指導医、厚生労働省臨床研修指導医
- 宮内 省蔵(部長)  
1993年愛媛大学医学部卒  
専門分野:糖尿病・内分泌代謝疾患  
資格:日本内科学会認定内科医・指導医、日本糖尿病学会糖尿病専門医・研修指導医、日本内分泌学会内分泌代謝科(内科)専門医・内分泌代謝科指導医、日本甲状腺学会専門医、厚生労働省臨床研修指導医
- 明坂 和幸(部長)  
1999年愛媛大学医学部卒  
専門分野:糖尿病・内分泌代謝疾患  
資格:日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・指導医、日本糖尿病学会糖尿病専門医、日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医、日本消化器病学会消化器病専門医、日本医師会認定産業医、厚生労働省臨床研修指導医
- 岡本 全史(医師)  
2019年愛媛大学医学部卒  
専門分野:糖尿病・内分泌代謝疾患

## 2. 実績

### ■ 疾患別入院患者数

疾患名	2020	2021	2022	2023	2024
糖尿病(2型+その他)	302	264	173	179	161
1型糖尿病	24	24	14	18	11
原発性アルドステロン症疑い	15	11	8	8	14
糖尿病性ケトアシドーシス	4	4	3	4	8
低血糖	4	4	4	2	1
パセドウ病	2	9	15	13	9
クッシング症候群	2	1	2	3	3
副腎腫瘍	2	0	9	2	0
誤嚥性肺炎	1	0	1	1	0
敗血症	0	1	0	0	0
その他	16	19	43	30	32
合計	372	337	272	260	239

### ■ 検査・治療件数

検査・治療名	2020	2021	2022	2023	2024
甲状腺エコー	1,006	1,031	915	770	723
頸動脈エコー	355	306	201	213	177
内分泌負荷試験	62	73	68	118	103
糖負荷試験	21	27	25	49	39
甲状腺細胞診	84	73	72	64	78
糖尿病教室	103	192	127	153	130

### ■ 他科入院中当科紹介患者数

疾患名	2020	2021	2022	2023	2024
糖尿病	1,056	1,056	997	1,089	1,092
妊娠糖尿病	76	91	72	83	62
1型糖尿病	31	16	21	26	32
甲状腺機能亢進症	8	19	25	32	31
慢性甲状腺炎	10	24	20	39	46
その他	18	45	45	56	76
合計	1,199	1,251	1,180	1,325	1,339

### ■ 他科入院中診療依頼科の内訳

診療科名	2020	2021	2022	2023	2024
泌尿器科	194	178	176	192	212
消化器外科	152	154	159	205	178
消化器内科	151	141	165	156	142
産婦人科	117	138	134	108	103
呼吸器内科	59	119	70	103	119
循環器内科	103	91	63	74	94
整形外科	89	91	106	91	78
耳鼻咽喉科	48	57	50	38	47
心臓血管外科	50	49	40	55	37
腎臓内科	62	46	45	40	32
脳神経外科	34	41	27	36	47
呼吸器外科	32	28	30	31	45
眼科	12	22	19	38	29
形成外科	16	21	12	18	21
乳腺・内分泌外科	25	17	27	34	40
皮膚科	16	17	11	15	10
脳神経内科	8	9	20	27	32
総診+血液内科+放射線科+救急+歯科	31	32	26	64	73
合計	1,199	1,251	1,180	1,325	1,339

## ■ クリニカルインディケーター

指標	成績
外来糖尿病患者 HbA1c<7.0%(NGSP)比率	41.20%
糖尿病・内分泌内科医師の栄養指導件数	1,230 件
糖尿病治療患者の中期的治療効果率(HbA1c 低下幅)	
治療前	10.2±1.9%
3 か月後	7.1±0.93%
6 か月後	6.9±0.9%
糖尿病入院患者冠動脈評価率	100%

## 3. 2025 年度目標

糖尿病患者において、電子瞳孔計と質問票による自律神経障害の評価を行う。

## 4. 学術関係

### (1) 学会発表および講演

- 宮崎万純、井上理香子、岡本全史、金本麻友美、塩見亮人、中口博允、三宅映己、吉田理、徳本良雄、廣岡昌史、古川慎哉、阿部雅則、井上可奈子、竹島美香、永井祥子、利光久美子、松浦文三、日浅陽一。非アルコール性脂肪性肝疾患の病態進展に関与する栄養指標の検討。第 27 回日本病態栄養学会年次学術集会。京都 (2024.1.26-28)
- 松浦文三、中口博允、井上理香子、岡本全史、金本麻友美、塩見亮人、宮崎万純、三宅映己、日浅陽一、古川慎哉、古賀繁宏、吉田素平。NAFLD に対する代謝改善/減量手術の有用性。第 27 回日本病態栄養学会年次学術集会。京都 (2024.1.26-28)
- 中平啓倫、宮内省蔵。褐色細胞腫にみられる稀な併発疾患について。第 54 回愛媛内分泌代謝疾患懇話会。松山 (2024.3.1)
- 岡野真大、三宅映己、岡本全史、井上理香子、金本麻友美、塩見亮人、宮崎万純、中口博允、小堀友恵、古川慎哉、阿部雅則、松浦文三、日浅陽一。BMI 変化量が糖尿病発症に及ぼす影響についての検討。第 67 回日本糖尿病学会年次学術集会。東京 (2024.5.17-19)
- 松浦文三、中口博允、金本麻友美、三宅映己、古川慎哉、日浅陽一、加藤ひとみ、原泰彦、稲田暢、藤堂裕彦、吉田直彦、扇真紀、宮内省蔵、南尚佳、酒井武則、川本龍一、菊池良夫、中西公王、宮岡弘明。愛媛県における糖尿病性腎臓病重症化予防の取組み—COVID-19 の影響。第 67 回日本糖尿病学会年次学術集会。東京 (2024.5.17-19)
- 松浦文三、中口博允、井上理香子、岡本全史、金本麻友美、塩見亮人、宮崎万純、三宅映己、日浅陽一、古川慎哉、古賀繁宏、吉田素平、押切太郎。NAFLD(MASLD)に対する代謝改善/減量手術の有用性。第 97 回日本内分泌学会学術総会。横浜 (2024.6.6-8)
- 金本麻友美、三宅映己、井上理香子、岡本全史、塩見亮人、宮崎万純、中口博允、古川慎哉、阿部雅則、日浅陽一、松浦文三。レムナントコレステロールが糖尿病発症に及ぼす影響についての検討。第 97 回日本内分泌学会学術総会。横浜 (2024.6.6-8)
- 塩見亮人、三宅映己、井上理香子、岡本全史、金本麻友美、宮崎万純、中口博允、渡辺崇夫、吉田理、徳本良雄、廣岡昌史、古川慎哉、阿部雅則、日浅陽一、松浦文三。糖尿病と肝線維化が非アルコール性脂肪性疾患の癌発生リスクに及ぼす影響。第 97 回日本内分泌学会学術総会。横浜 (2024.6.6-8)
- 中平啓倫、宮内省蔵、明坂和幸、大野敬三、戎井理、南尚佳、三宅映己、古川慎哉、日浅陽一、松浦文三。異所性 ACTH 産生腫瘍と高 IL-6 血症を合併した褐色細胞腫の 1 例。第 24 回日本内分泌学会四国支部学術集会。東温 (2024.9.7)
- 岡本全史、宮内省蔵、明坂和幸、大野敬三、戎井理。免疫チェックポイント阻害薬使用中に 1 型糖尿病を発症した 5 例の臨床的特徴。第 62 回総合日本糖尿病学会中国四国地方会。岡山 (2024.12.6-7)

### (2) 論文・著書

- 島瀬奈津子、阿部恵美子、宮内省蔵、横畑理美、上野愛美、池田朋子、田中寛希、森美妃、近藤裕司。母体バセドウ病に合併した胎児甲状腺腫に対し、超音波検査を用いた甲状腺機能スコアリングシステムにより甲状腺機能評価を行い胎児治療を行った 1 例。産婦人科の実際 Vol.73 (No.1)。93-97 (2024.1.1)

- Ryosuke Kitada, Shozo Miyauchi, Kazuyuki Akasaka, Osamu Ebisui. Newly diagnosed Graves' disease following treatment with immune checkpoint inhibitors: a case report and review of the literature. 愛媛医学 43(3), 172-178 (2024.9.1)